

自然観察さんぽのおすすめ（アカツメクサ）

ご近所の道端や公園の片隅にアカツメクサ（＝ムラサキツメクサ）

は見つかりますか？



小さな花がくす玉のようにまとまって咲きますが、マメ科ですので一つの花はマメっぽい花です。シロツメクサ（クローバー）と似ているけれど花茎が枝分かれしながら立ち上がり、花も大きくてなかなかきれいですね。

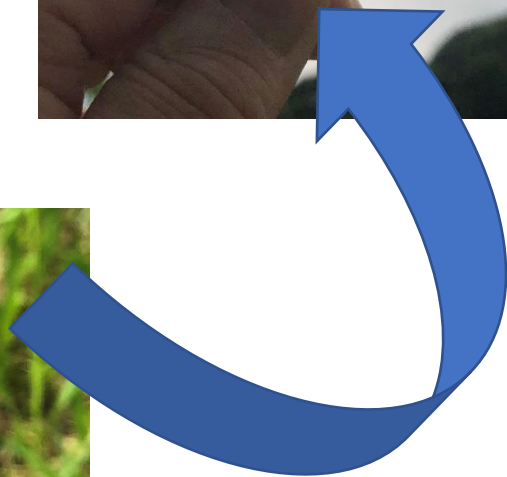
①この花を一つもらって、「で～てこい、で～てこい、アザミウマ」と歌いながら手のひらにたたきつけると馬ではないですが、小さな黒い虫が出てきます。下の方に小さな黒い点（ゴマ粒より小さいです）一つ見えますか？いくつ馬が出るか競争するのが昔の遊びだったようです。



昔は道端のアザミで遊んだのでしょう。虫の顔が馬面かどうかは、虫眼鏡で見て調べてください。

②葉はクローバーと同じ3枚セットの葉で、白っぽい模様が入っています。

この葉を一枚もらって、「白い模様がありますね」と確認してから「ちちんぷいぷいのパイ（古いかな？今の子どもはどんな呪文が好きかしら？）」と唱えてから頭より上に持ち上げてみると、あつたはずの白い模様が消えてなくなります。



上手に手品できるかな？試してみてね。



③この花が沢山咲いている場所に、時に見つかるこんなもの・・・



ヤセウツボという花です。この植物には緑の葉がありません。植物はみどりの葉で光合成して成長するのですから、不思議ですよ。じつはコレ、寄生植物なのです。いろいろな植物に寄生するようですが、身近なところではアカツメクサの近くでよく見られます。アカツメクサもヤセウツボも外来植物ですが、ヤセウツボは要注意外来生物に指定されています。できれば見つけ次第花が咲く前、種子が実る前に抜き取るのがよさそうです。

本人には何の落ち度もないのですが・・・

(写真は太田川緑道。ただしその後草刈りも入っています)